



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2022年
12月16日
発行

第 161 回

「来年の株式市場見通し」

～日経平均は上昇へ～

初めに

今年も残すところあとわずかになりました。今回は来年の株式市場の見通しです。

悪材料が多かった今年の株式市場

今年には株式市場にとって悪材料が多い年でした。2月にはロシアがウクライナに侵攻、また、インフレが大きな問題となり、3月にはFRBが政策金利の引き上げに踏み切りました。現在でも利上げは続いています。日銀を除く各国主要中央銀行もFRBに倣って利上げを開始しました。この世界的な金融引き締めも、今年の各国株式市場にとって大きな悪材料となっています。さらに、最近では米国の大手仮想通貨取扱業者FTXの破綻、というのもありました。この問題は、米国の景気や金融市場がバブル的な状況にあったことを示すものですが、これらの悪材料はいずれもまだ続いています。従って、来年も引き続き投資家はこうした材料と向き合うことになるでしょう。

来年は明るい見える理由

しかし、悪材料があるからといって悲観的に見ているわけではありません。むしろ逆です。弱気な人が多いのは良い株を安い値段で買うチャンス、と考えるべきだと思います。

悪材料の影響力は低下

先ほど挙げた悪材料の影響力は徐々に薄らぐと見ています。例えば、ウクライナ戦争です。侵攻当初はロシアの圧倒的優位と見られていましたが、今ではウクライナの方が、ロシアに占領された地域を回復しています。また、武器弾薬の備蓄について、ロシアはかなり手薄になっているのではないかと専門家の見方もありますが、一方でウクライナについては最近米国が地対空ミサイルパトリオットの供与を決めるなど、補給の面でもウクライナ優位とみられます。ロシア国内で厭戦気分が広がっている様子などもテレビで頻りに報道されており、遠からずこの戦争はウクライナが主導権を取る形で決着すると予想されます。仮想通貨の問題についても各国で規制が強化される一方、FTXのバンクマン・フリード前CEOが逮捕されるなど、検察当局の捜査も始まっています。今後、仮想通貨に対しては慎重な見方が増えそうです。

製造業に注目

以上のように考えて、私は来年の株式市場については明るいとしています。日経平均株価の高値については35,000円もあり得るとの見方です。注目の業種としては環境・宇宙・防衛関連などが考えられ、いずれも製造業の会社にチャンスがあると見ています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。